

3-6

演題	SDGs 手当の導入
副題	～福利厚生から SDGs へ～

法人名	社会福祉法人 吉祥会
施設名	寒川ホーム

発表者名 (職種)	関山 真 介護職員
共同発表者	木藤 剛
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	高座郡寒川町小谷 1-13-5
TEL	0467-75-0785
FAX	0467-75-9963
メールアドレス	shisetu@samukawahome.com
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	30周年を迎えた特別養護老人ホーム（従来型 64 床） 能力給制度を導入し、未経験者・転職者でも評価される施設。理念を『すべての人が歓喜』とし、 スタッフのワークライフバランスを充実させるため残業ゼロ・有休消化率 100% 消化できる 施設。
---------------------------	--

研究の目的、PR ポイント

そもそも社会福祉法人って何？
～皆さんは社会福祉法人で働く意味を知っていますか？～
～現在就職している人も社会福祉法人で働く意味を知っていますか？～
理念変革にあたって『社会福祉法人としての役割を果たしているのか？』『法人として社会貢献できているのか？』の疑問が生じる。これらを理解・取り組むことによって、いっそう前向きに働けるのではないかと考え取り組むこととなった。
その結果、その一環として「SDG s 手当」を導入し、SDGs が掲げる目標達成に向けての一員として行動を始めたが、仕事に対する姿勢の変化やご利用者への影響について発表する。

取り組んだ課題

介護業界も大きく変わり法人理念を変革する。
前理念の一部でもあった『地域貢献』は引き継ぐが積極的な地域貢献なく、“社会福祉法人としての使命”を理解しているスタッフが少ないことに気づく。
また、社会においては『SDGs』へ取り組みが大きな話題となっており、法人として SDGs への取り組みを行いつつ付加価値として SDGs17 の目標のうち目標 8『働きがい』に焦点を当てて定着率アップ・福利厚生充実に取り組むこととした。

【現在までの課題】

- ① 積極的な地域貢献（活動）がない
- ② 定着率ゼロが達成できない

具体的な取り組み

- ① SDGs についての勉強会
 - 1) 社会福祉法人とは何か（使命）
 - 2) SDGs とは何か
 - 3) なぜ SDGs に取り組む必要があるのか
- ② アンケート調査の実施
 - 1) 自分はどんなことができるのだろうか
 - 2) 施設としてどんなことが必要だろうか
- ③ 地域貢献に関する取り組み

- 1) 美化活動 近隣の清掃
- 2) 介護セミナー開催 地域向け介護に関するセミナー・介護入門的研修の開催
- ④ SDGs に関する取り組み
 - 1) SDGs 手当の支給 1,000 円 / 月（常勤）
 - 2) SDGs に取り組んでいると感じる
女性ネイル⇒利用者にもネイル
介護職だけでなく看護師（全体で）がやった

活動の成果と評価

【地域貢献活動について】

- ① 美化活動 /
感謝の声・地域と交流⇒ボラと慰問が増えた
介護職のイメージアップ⇒採用した
介護の相談をうけた（地域包括ケアに繋がる）
- ② 介護に関するセミナー開催 /
申込者が増えた
ケアマネしてほしい依頼

【SDGs への取り組み】

- ① SDGs 手当の導入 /
ご利用者にもいい影響
定着率アップ
明るい気持ち（髪・ネイル 見た目 9 割）

今後の課題

- ① 地域貢献活動から、地域住民から感謝の声や参加スタッフは徐々に増加。（初回参加数 11 名⇒現在 18 名）これらの活動を続けることにより地域貢献はもちろん、顧客拡大・人材確保（介護職のイメージアップ）へと繋がる工夫が必要。
独居訪問・空き屋清掃
掃除がてらの見守りや支援
- ② SDGs 手当の目的を理解し続け“目標達成”へと向けた活用ができていくことが重要。
順番に発信して承認欲求を得る
モチベーション高いスタッフからヒントを得られる地域の商店を盛り上げる（買い物して）